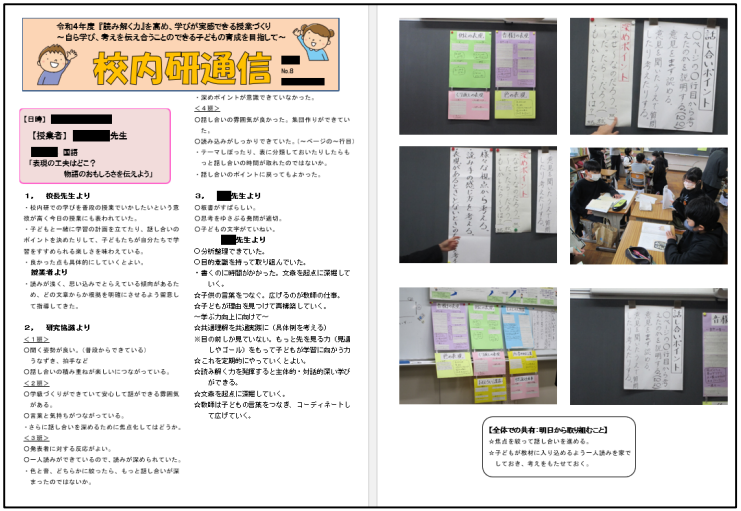
役割の自覚　校内研究通信の作成と校内研究会の司会

　毎回の校内研究会が終わった後に、校内研究通信を発行しました。校内研究通信は、校内研究主任だけでなく、研究推進委員会のメンバーも順番に作成を担当しました。
　また、校内研究会での司会は、若手からベテランまで、全ての教員でローテーションしました。

若手の教員が作成した校内研究通信



ベテランの教員が作成した校内研究通信

　校内研究通信の作成や校内研究会の司会など、校内研究に関わる役割を多くの教員が担ったことで、校内研究を自分のことと捉える教員が増え、「共通理解」が深まりました。
　校内研究通信は、校内研究会に対して、それぞれの教員の受取り方が異なるため、内容や書き方に一人ひとりの色が出ました。作成した先生が、今回の研究で何を学び、どのように考えたのかが分かり、読む側も楽しみになりました。
　また、校内研究会の司会を担当する際は、事前に配付された指導案や研究授業を「みる視点」などをしっかり読み込み、準備する姿が見られました。　（Ｂ小学校　校内研究主任）